

令和2年度 第15回 役員会議事要旨

日 時：令和2年11月24日（火）

午後1時30分開会

午後2時00分閉会

場 所：事務局役員会議室

出席者：総長，山口理事，横田理事，吉見理事，増田理事，山本理事，菅原理事，村田理事，梅原理事

欠席者：なし

（オブザーバー）

高橋監事，石川監事，秋田副学長，弼副学長，石森副学長，長谷山副学長

議事に先立ち，総長から資料に基づき，11月9日の令和2年度第14回役員会の議事要旨に係る確認があった。

議 事

議案1 未来戦略本部の設置について

議案2 諸規則の制定及び一部改正について

総長から，資料に基づき説明があり，審議した結果了承された。

議案3 役員給与規程の一部改正について

村田理事から，人事院給与勧告を踏まえた本学役職員の給与の取扱いについて，役員については職員に先行して令和2年12月から期末手当の引き下げを実施すること等について説明があった。その後，総務課長から，資料に基づき，役員給与規程の一部改正について説明があり，審議した結果了承された。

報告事項等1 令和2事業年度中間決算について

吉見理事から，資料に基づき，令和2事業年度中間決算について，前年度に比べ「経常費用」は約6億円減少し，「経常収益」は約8億円減少したこと，今年度の中間決算時点では，経常収益から経常費用を差し引き，臨時損失等を加減した「当期総利益」は約7億円であること，資産については，前年度に比べ約9.1億円増加したこと，今年度決算の総利益見込については，約8億円であること等について報告があった。

報告事項等2 令和2年度病院収支見込（中間決算時点）について

秋田副学長から，資料に基づき，令和2年度病院収支見込（中間決算時点）について，当初予算の段階での収支見込みはマイナスであったが，国からの支援額の増額，病院収入の伸び等により収支が回復したこと，札幌市内の新型コロナウイルス感染患者は増加傾向であり，院内感染等の減収リスクが高いことから，今後の収支については楽観できない状況であること，また，病院収入額の

減少要因としては、患者数の減少等があげられること、支出額の増加要因としては、高額医療薬の増加による医療費率の増加等があげられること等について報告があった。